

## 川越高等学校に交通安全活動用ヘルメットを贈呈

～交通事故防止・ヘルメット着用義務化を周知～

日本損害保険協会中部・北陸支部三重損保会（会長：楨野 光修 三井住友海上火災保険株式会社 三重支店長）では、三重県警察本部の協力のもと、三重県立川越高等学校の生徒会役員 10 名に自転車ヘルメットを贈呈することとし、6月5日（金）に同校で贈呈式が開催されました。

三重県警察本部では、県内に在学する高校生にセーフティ・バイシクルリーダー（以下、「SB リーダー」とします）を委嘱し、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動を行っています。本取組みは、三重損保会としてもその活動や交通事故防止に貢献したいと考え、同会から SB リーダーの活動用オリジナルヘルメットを贈呈しているものです。

当日はまず、四日市北警察署の尾寄署長から SB リーダー委嘱状の交付があり、同署長から「SB リーダーの皆さんには、『交通ルールを守る』、『周囲に気を配って自転車を利用する』という意識を持ち、自転車に乗る際の正しいルールを他の学生さんたちに広めてほしい。皆さんの取組みで川越高等学校の学生さんに交通事故ゼロを目指していただきたい。」との挨拶がありました。

続いて、日本損害保険協会中部・北陸支部の加賀事務局長から、SB リーダー代表として生徒会長の中井蒼空さんに対し活動用ヘルメットの贈呈がありました。

ヘルメットを贈呈された生徒会長からは「自転車通学の生徒を見ると、ヘルメットを着用している人はほとんどいない。ヘルメットを着用して川越高等学校の皆さんが安全に登下校できるように取り組みたい。」とのコメントがありました。

委嘱式終了後、四日市北警察署の土生交通第一課長と SB リーダー10 名で交通安全座談会が開催され、道路の危険箇所等について意見交換をしたり、ヘルメット着用の重要性を考える動画を視聴したりしました。土生交通第一課長からは「ヘルメットの着用率を上げるためには SB リーダーの働きかけが重要」とのコメントがありました。

当支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



委嘱状の交付



ヘルメットの贈呈



セーフティ・バイシクルリーダーと記念撮影



交通安全座談会の様子